

舟七 車輪

平成19年11月 発行

(財)伏木富山港・海王丸財団

TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

http://www.kaiwomaru.jp

第109号

退任のご挨拶

常務理事 宮下 修



9月30日をもって伏木富山港・海王丸財団を退任いたしました。この財団の勤務は1年半と短いものではありませんでしたが、ボランティアの皆さんの協力により総帆展帆が実施され大勢の人々に親しまれている帆船海

王丸と共に勤務することができましたことを、一生忘れることができません。

昨年七月、海フェスタでお成りになりました秋篠宮殿下を船長と伴に海王丸、海王丸パークをご案内できましたことや、残念ながら一度しか機会がありませんでしたが、ボランティアの集いでボランティアの皆さんと色々歓談の場を持てたことは印象深い思い出となっております。

帆船海王丸が富山に来てから17年余りになりますが、いまだに海の貴婦人としての美しい姿を保ち、多くの来場者、見学者に喜んでいただけるのは、ボランティアの皆様のご協力の賜物と思っています。

今後も総帆展帆を継続していくためにも、新規ボランティアの育成が欠かせないものと、新たなボランティアの育成を行っておりますので、これから新規加入ボランティアの方を仲間として暖かく受け入れて頂き、いつまでも海王丸が総帆展帆できる船であり続けて欲しいと思っています。

なお、船長をはじめ海事課の職員により毎年、主に小学生高学年の子供たち約1,500名を対象に海洋教室を開催しております。職員の苦労は並大抵ではありませんが参加者には大変好評であります。その教室の最後に行っているアンケートでは、「将来、船長になりたい」という意見はありますが、「帆船ボランティアになりたい。」という声は残念ながらありません。海洋教室参加者とボランティアの皆さんの

接点がないため仕方が無いことではありませんが、今後ボランティアの皆さんにも海洋教室に参加いただき、子供たちと一緒に帆のひともつも揚げる事ができればなあと思っています。ボランティアの皆さんにも負担のかかることであり、簡単にはいかならないとは思いますが、そのことが海王丸を愛する人々の輪が広がることにつながるのではないかと夢を描いています。

海王丸は来年のバレンタインの日で78年を迎えます。100年まであと22年です。私も現在59歳ですが、ぜひこの地で、この目で海王丸が100年を迎える姿を見たいものだと考えており、これからの生きていく励みにしたいと思っています。いつまでも海王丸が多くの人々に愛され、またボランティアの皆さんの協力を頂きますようお願いしまして、退任のあいさつといたします。たいへんお世話になりました。ありがとうございました。

着任のご挨拶

常務理事 成田 和生



宮下の後任として県立中央病院から10月1日付で伏木富山港・海王丸財団へ参りました成田です。どうぞよろしく願います。海王丸パークへは、休日に時々遊びに来たりしてはいましたが、まさかこちらで働くことになるとは、思っても見ませんでした。私は、今まで青函連絡船や遊覧船に何度か乗ったことがあるくらいで、船とは殆ど無縁の生活をしてきましたが、10月からは海王丸と向き合う毎日となり、総帆展帆も間近で見させていただき、とても感動しています。しかし、ただ感動しているだけでなく、総帆展帆を行うには、多くのボランティアのみならず、大変なご苦勞とご協力が不可欠であることも知りました。着任早々ではありますが、何事も上辺だけで物事を見てはいけないと改めて思い知

らされました。

これからは、海王丸ファンの一人として、ボランティアの皆様のご協力をいただきまして海王丸の保存・活用に努めていきたいと存じますので、よろしくお願ひいたします。



海事課長 阿部 真二郎

10月1日付けで海事課長として着任しました、阿部真二郎です。愛知県生まれの団塊ジュニア世代です。海王丸世がマザーシップでしたので、初代海王丸で勤務するのは、これが初めてです。とはいえ、「質実剛健海王丸」の精神は受け継いできておりますので、どうぞご安心下さい。今や見る事のなくなったリベットの船体や現役とは異なる帆装艦装など、毎日発見と驚きの連続で、船乗りとしてよい経験ができるのではないかと期待しています。

ボランティアの皆さんとは、早速一緒に総帆展帆を行いました。失礼ながら決して若くはない皆さんがパワー全開で、軽快に作業しておられる姿を見て圧倒されてしまいました。負けないように頑張りたいと思います。皆さんと同じく海王丸を愛する一員として、一緒に「海の貴婦人」の伝統を守っていきたく思います。微力ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。また、プライベートで、富山の文化やグルメなど教えて頂ければ幸いです。

総帆展帆を行いました。失礼ながら決して若くはない皆さんがパワー全開で、軽快に作業しておられる姿を見て圧倒されてしまいました。負けないように頑張りたいと思います。皆さんと同じく海王丸を愛する一員として、一緒に「海の貴婦人」の伝統を守っていきたく思います。微力ですが精一杯頑張りますので、よろしくお願ひ致します。また、プライベートで、富山の文化やグルメなど教えて頂ければ幸いです。

9・10・11月の行事結果

総帆展帆



総帆展帆後半戦は天候に恵まれ実施することができました。9月23日には秋のフ

ァミリーフェスティバル、10月7日には巨大フリーマーケットなどのイベントも合わせて開催され、多くの親子連れが白いセイルを広げた美しい海王丸を見学していました。新規ボランティアの初参加や、横浜の日本丸ボランティアの参加もあり、賑やかな総帆展帆となりました。

11月3日、今年最後の総帆展帆では、恒例の海王丸運動会（ネプチューニアード）を行い、各チームそれぞれに得意分野があるようで楽しい展開となりました。優勝はフォアmastチーム、3連覇となりました。

総帆展帆 9月23日（日）
天候 曇 参加人数 87名
展帆状態 28枚 スタ・ポ・ド・タック スクエア・ス

総帆展帆 10月7日（日）
天候 晴 参加人数 62名
展帆状態 総帆 ポ・トタック スクエア・ス

総帆展帆 10月21日（日）
天候 晴 参加人数 67名
展帆状態 総帆 ポ・トタック スクエア・ス

総帆展帆 11月3日（土・祝）
天候 晴 参加人数 79名
展帆状態 総帆 ポ・トタック スクエア・ス

絵画コンクール表彰式

「ぼくらの夢帆船」帆船海王丸絵画コンクールの表彰式が、10月7日（日）海王丸パークシェルステージで挙行されました。夏休み期間中、多くの親子連れが海王丸パークを訪れ暑い中思い思いの夢帆船を描いていました。応募総数755点の力作の中から、特に優れた作品29点が表彰されました。河原船長から賞状や入賞作品がプリントされた特製の楯を渡されると、児童達の顔には、緊張の中にも喜びの表情が浮かんでいました。入賞作品を含む全ての作品は、11月4日までパーク内中央パーゴラに展示されました。



最優秀賞の作品
上 藤島陽平君（5年）
右 渋谷航輝君（3年）

予備発電機原動機分解手入れ

海王丸機関室にある予備発電機原動機（ディーゼル機関）を、分解し整備しまし

た。この発電機は現役時代には2号発電機として活躍し、引退後は陸上電源喪失時のバックアップ（非常用自家発電機のようなもの）の役割を果たしています。

原動機まわりの配管・配線等を外し、ピストンを抜き、使えなくなった部品を交換しました。バラバラになった姿を見ると、「また元通りになるのだろうか？」とってしまうのですが、チームワーク抜群の職工さんたちの手によって、見事復旧、試運転の結果も良好でした。

普段は静かな機関室ですが、この期間中はまるで現役の船のように賑やかでした。



新規ボランティア養成訓練

10月に行われた新規養成訓練で次の方が仲間に加わりました。どうぞよろしくお願ひします。

村崎 奈緒子さん（むらさきなおこ）
 森田 祐子さん（もりたゆうこ）
 西野 友理さん（にしのゆうり）
 本江 亜衣さん（ほんごうあい）

12・1月の行事予定

ボランティアの集い

ボランティア相互の親睦をはかるボランティアの集いを開催します。久しぶりに顔を合わせる方、普段はマストが違って話す機会の無かった方とも賑やかにご歓談ください。

日時；平成19年12月8日（土）
 18:30～20:30

（受付開始は18:00～）

会場；いきいきKAN ホール
 （富山駅前CiC 5階
 JR富山駅南口から徒歩2分）

昨年と同じ会場です

住所；富山市新富町1-2-3

電話；076-441-0109

会費；無料

内容；立食パーティー、ボランティア表彰（精勤賞）など

飲酒運転は法律で禁じられています。公共交通機関をご利用ください。



探鳥会

日時；平成19年12月9日（日）
 08:30～10:30

場所；臨海野鳥園（海王丸パーク内）

内容；バードマスターによる解説を聞きながら観察できます。

餅つき・鏡開き大会

毎年恒例の餅つき・鏡開き大会を、下記の日程で開催します。ボランティアの皆さんのご協力が必要です。年末年始の慌ただしい時期ですが、沢山の方のお越しをお待ちしております。

餅つき大会

日時；平成19年12月24日（月・振）
 09:00～16:00

場所；海王丸棧橋（乗船口横）

内容；餅つき、豚汁作りと乗船者への振る舞い

鏡開き大会

日時；平成20年1月13日（日）
 09:00～14:00

場所；海王丸棧橋（乗船口横）

内容；ぜんざい作りと乗船者への振る舞い

お知らせ

イルミネーション

夜の海王丸を美しく飾るイルミネーション
ンを、年未年始は毎日実施します。
上げ更新麗な姿を、是非ご覧下さい。

日時：平成19年12月21日（金）
～平成19年1月6日（日）
日没～21:00

みなとまち上陸紀行

長い空気を吸い、海を泳ぐ。おもしろい航路の先には、大阪の街が広がっています。街の中にも色々なところがあり、古い建物が残っています。天保山には、天保山市場や天保山公園などがあります。天保山は、天保山市場や天保山公園などがあります。

これ、何かご存じですか？大阪港内にはいると、上屋（倉庫）の屋根やタグボートのファンネル（煙突）に描かれていたり、街の中にも色々なところで見られます。これは大阪市の市章「湊標（みおつくし）」です。湊つくし、といっても沢口靖子がヒロインを演じたNHKの朝ドラではありません。湊標は航路の端を示す、今で言う航路標識のようなものです。古代に難波津と呼ばれていた頃から水運が発達し、天下の台所として繁栄した水の都大阪のシンボルマークとして市民に親しまれています。小倉百人一首に次のような歌があります。

侘ぬれは今はおなし難波なる
身をつくしてもあはんとそ思ふ
元良親王

（歌意：あなたに逢えなくてつらく寂しい思いで、今となっては身を捨てたも同然です。難波にある「湊標」の言葉のように身を尽くして（捨てて）でもあなたにお逢いしたいものです。）

「湊標」と「身をつくし」は掛詞です。平安の時代から大阪の湊標は知られていたのですね。

練習船は、客船が泊まることの多い安治川河口の天保山岸壁に入ります。ここは、ベイエリアのにぎやかな場所で、海遊館・

サントリーミュージアム・天保山マーケットプレースがあり、多くの観光客が訪れます。この岸壁の近くに、隠れた名所があります。その名は「天保山」、日本一低い山です。標高は4.5m、地図にも載っています。天保年間、安治川河口を掘り下げた際に出た土砂を積み上げたり人工の山で、当初は20m程の高さがあり、安治川をさかのぼる船にとっては「顕著な物標」だったようです。幕末の砲台建設や、近代の地盤沈下によって標高は低くなってしまいました。周囲は天保山公園として整備され、憩いの場となっています。

質問コーナー

（質問）海王丸の航跡図を見るとハワイへの航海が多いですが何故でしょうか？

（答え）「憧れのハワイ航路」という歌があるくらいですから船乗りデビューはハワイからです、というのはいくらも冗談で済ませるとした理由があります。

理由 風系（大気循環）
帆船の原動力は「風」です。風のないところでは走りません。日本とハワイの間には、中緯度の偏西風に乗ってハワイへ行き、貿易風をとらえて日本に帰って来ると都合の良い風帯があります。南半球に行こうとすると、赤道無風帯（ドルドラムス）というほとんど風のないところを縦断しなければならず、練習帆船では実習になりません。

理由 航海規模と実習期間
実習の多くは3ヶ月単位で行われています。ハワイまで片道約1ヶ月でしたので、寄港地での停泊期間や帰国後の船体整備などを合わせると、ハワイは丁度良い距離にある寄港地ということになります。

理由 補給
寄港地では荷役と並んで補給という大きな目的があります。200人分の水と食糧となると、どこでも手にはいるわけではありません。

終わりに

お天気に恵まれた今年は、総帆展帆を9回実施することができました。1回あたりの参加者数が昨年より少し増えました。来シーズンもよろしく願います。
危険予知トークは次号に掲載します。